

令和6年1月26日

記

東京都歴史教育研究会

関係者各位

東京都歴史教育研究会会長

東京都立葛西南高等学校長

関山勝之

東京都歴史教育研究会見学委員会委員長

東京都立西高等学校副校長

高野祥一

東京都歴史教育研究会 春季史跡見学会のご案内

「品川宿とその周辺をめぐる」江戸四宿を訪ねて 第2弾

寒中の候、皆様におかれましては、ますます御盛栄のこととお慶び申し上げます。令和5年度春季史跡見学会を企画いたしましたので、ここに御案内いたします。

今回は、江戸の五街道の東海道の初宿を兼ねる江戸四宿の一つである品川宿周辺を巡ります。

午前は高輪ゲートウェイ駅に集合し歩き始めます。初めに訪れる東禅寺は幕末の日本で最初のイギリス公使館が置かれた場所であり、激しい尊王攘夷運動が展開された現場です。その後のカトリック高輪教会では、江戸時代の禁教令を背景に多くの殉教者が生まれたことを受けて建てられた「江戸の殉教者の顕彰碑」が残されています。宿場町という華やかさは裏腹な血なまぐさを内包する品川宿の一面を垣間見ることができます。次に訪れる品川御殿山は、將軍御用達の御殿という存在だけでなく、幕末の台場建設のための掘削地として利用され、その規模の大きさが今も窪地という形で残されており、そこを見学します。その後は旧東海道の品川宿の道を歩きながら問答河岸の碑や利田神社・鯨塚など江戸將軍ゆかりの史跡を巡ったのちに、板垣退助の墓並びに「板垣死すとも…」で有名な碑が残る品川神社を訪れて昼食時間となります。

午後は、明治初期に設立された品川硝子製造所跡碑から歩き始め、東海寺大山墓地では徳川家光との関係から品川に所縁の深い沢庵和尚の墓・『万葉考』などでも著名な国学者である賀茂真淵の墓・長州ファイブの一人で日本の鉄道の父と称される井上勝の墓などを巡ります。その後、非公開ではありますが岩倉具視・山内豊信（容堂）の墓を巡りつつ、最後は江戸防衛のために土佐藩が設置したとされる浜川砲台の跡地を見学し、坂本龍馬像までめぐって解散となります。

今回は、元全歴研会長・元見学委員長である、成蹊中学校・高等学校長の仙田直人氏が講師を務めます。仙田先生は東京都を御退職後、品川女子学院の校長職を務められ、品川宿周辺地域に造詣が深く、「江戸から東京へ」（東京都教育委員会）や『東京都の歴史散歩』（山川出版社）等の監修にも携われ、史跡を単に見学できるだけでなく、その場に立つからこそ味わえる臨場感あふれる歴史の解説をして下さいます。

年度末お忙しい時期かと存じますが、皆様の参加を心よりお待ちしております。

1 期 日 令和6年3月10日（日） ※雨天決行

2 見学地 東京都港区・品川区

3 集 合 8：50 高輪ゲートウェイ駅 改札前（JR山手線）
解 散 17：00頃 立会川駅 （京浜急行本線）

4 行 程

【午前】 高輪ゲートウェイ駅改札前集合 → 東禅寺 → カトリック高輪教会（「江戸大殉教図」、江戸の殉教者顕彰碑） → 品川御殿山 → ゴジラ初上陸地点 → 品川宿（・北品川宿・南品川宿）入口 → 問答河岸の碑 → 土蔵相模の碑 → 鯨塚 → 利田神社 → 台場小学校 → 聖蹟公園 → 品川神社 【昼食休憩】 新馬場駅解散・集合

【午後】 新馬場駅 → 品川硝子製造所跡碑 → 東海寺大山墓地 → 東海寺 → 妙蓮寺 → 品川宿問屋場・跡 → 天妙国寺 → 江戸幕府御用宿釜屋跡碑 → 品川寺 → 海晏寺 → 仙台藩下屋敷跡碑 → 山内豊信（容堂）墓 → 浜川砲台跡 → 坂本龍馬像 → 立会川駅解散

5 講 師 仙田 直人 氏（成蹊中学校・高等学校長）

6 参 加 費 1000円（資料代、その他雑費） ※当日お持ちください。

7 申込締切 令和6年3月1日（金）

以下のハイパーリンクまたはQRコードより、お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/bKi6KZwS9H>

※ハイパーリンクやQRコードの利用が難しい場合は、以下の必要事項をご記入のうえ、下記の問い合わせ先まで

Email もしくは郵送でお申し込みください。

【必要事項】所属・氏名・住所・電話番号など

8 問い合わせ先

東京都立翔陽高等学校 丸山 優介

住所 〒193-0944

東京都八王子市館町1097-136

電話042-663-3362

E mail Yuusuke_Maruyama@education.metro.tokyo.jp

*当日の緊急連絡先は申し込み後、通達させていただきます。

